

2016年度 FD計画プロジェクト活動計画

FD計画プロジェクト・リーダー 林 容市

<FD計画プロジェクト>

1 活動目的

教員ならびに教育の質的向上を図るための方策及び恒常的な検証を推進するための全学的なFD活動推進に資する関連情報を、学内学外を問わず収集し分析を行う。これらに基づき、FD活動推進にむけた諸施策を主として学内関連会議などへ提案を行う。

2 活動計画

1) 「学生による授業改善アンケート」に関する検討(継続)

2015年度のFD計画プロジェクトの活動実績を踏まえ、2017年度春学期からの「学生による授業改善アンケート」(期末アンケート)変更内容について、継続検討及び提案を行う。具体的な検討内容を以下に示す。

・対象アンケート：期末アンケート

・実施時期：春学期末4週間以内程度、秋学期末4週間以内程度

・実施方法：全科目をアンケート対象とし、授業内での実施を基本とする。但し、大人数授業については、データ通信容量の問題があるため、期間内実施も併用する(受講学生数は各教室200名程度が目安)。また、学生証番号記入方式及びアンケートコンテンツの工夫により、1科目あたりの回答時間は5分以内を目安とする。

・アンケート項目

- a. この授業を履修して、よかった点や改善してほしい点等を記入してください。例えば、授業内容、教材資料、授業環境(私語等)、課題及び教員との交流など。
- b. この授業の担当教員は、積極的に授業改善の工夫をしていましたか?(熱意、授業方法、板書方法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促し)。  
1) 大変工夫していた 2) 工夫していた 3) ふつう 4) あまり工夫していない 5) 工夫していない
- c. この授業に関しては、授業時間につき(90分)、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか?(予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集や、友人や教員との討論や質問も含む)  
1) 週3時間以上 2) 週2時間以上3時間未満 3) 週1時間以上2時間未満 4) 週30分以上1時間未満 5) ほとんど行っていない
- d. この授業内容を理解できましたか?

1) 大変理解できた 2) 理解できた 3) ふつう 4) あまり理解できなかった 5) 理解できなかった

e. この授業を履修してよかったですか？

1) 大変よかった 2) よかった 3) ふつう 4) あまりよくなかった 5) よくなかった

\*学部独自質問は、基本的に本アンケートには含まないものとする。

## 2) 「グローバル化に伴う授業の多様化」に関する情報収集及び検討（新規）

多くの高等教育機関において、教養科目及び専門科目を問わず PBL、地域交流型授業及び学生発案型授業等が、学生・職員・教員の協働の形式で一部実施され、着目されつつある。従来の講義型授業と比較して、これらの学生の「主体的学び」を意識した授業については、各学部・学科におけるカリキュラム内での位置づけ、講義内容、運営方法、受講者の選抜及び評価等に関する問題点も指摘されている。一方で、多様化する授業形態の中で今後の展開が期待され、学生視点からの専門領域を超えた着眼点の情報源ともなる。さらに、法政大学のブランディングを意識したテーマ等による AL（アクティブ・ラーニング）やフィールド・ワークの活性化としての役割も期待される。これらに関する情報を、収集、解析及び情報提供を行うことにより、キャンパスの特色を活かした「学生発案型授業」の単位化も視野に入れ、学部・学科の「教育の質」向上に向けた検討を行う。

## 3) 「HOSEI2030」に向けた FD 活動についての検討（新規）

2015 年度 FD 計画プロジェクト活動報告（2016 年 3 月 15 日：第 3 回アドバイザリー・ボード会議）に基づき、2015 年度に行われた FD フォーラム、FD ミーティング及び FD ワークショップ等のアンケート結果及び日本私立大学 FD 連携フォーラム（J P F F）等の資料を踏まえ、「HOSEI2030」に向けた具体的な FD 活動の骨子について、検討を実施する。また、既に実施されている授業相互参観及び新任教員研修のあり方についても、FD 推進プロジェクトと合同で検討を実施する。さらに、グローバル化とオンライン教育を踏まえた FD 活動については、重要事項であるので、適宜、関連組織との情報交換も踏まえて。プロジェクト内で検討する予定である。

以上